

社協 おうたき

第

67

号

平成30年 7月15日 発行

社会福祉法人

王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曽郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033



滝越集落を望む（写真『村誌 王滝(自然編)』より）

平成29年度事業報告・・・2～5P

平成29年度収支決算・・・6～7P

がんばれ滝越！

7月の大雨災害で村道が崩落し、長期の避難生活を余儀なくされている滝越のみなさん。一日も早く住みなれた集落での生活に戻れますよう願っています。

平成29年度おもな事業の報告



リズムに合わせて、ゆ〜らゆら！

いきいきサロンのばあちゃんとどんぐり広場の子どもたちが音楽教室で交流会。たがいにふれあいながら、親しみを深めました。

子どもたちとまゆ玉飾り
ごたくらぶのじいちゃんが、子どもたちとだんごの木の飾り付け。
風習を伝えて交流しました。



協働

◇地域福祉活動

ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 14メニュー 86名（成人12%）

ボランティア講座 2回開催 参加者24名

その他、ボランティア新年交流会や、お楽しみ弁当つくり隊勉強会などを実施。

2. 第28回福祉・健康の集い（社会福祉大会）

『ありがとう！ 笑顔でつながる元気な地域』

9月10日 参加者220名

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験

体験 5メニュー 参加者57名

福祉講座&体験教室 1回開催（中学生職場体験）

その他、デイサービスなどの諸事業での子どもたちとお年寄りの交流会などを実施。

支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

7月14日 九蔵地区サロン 参加者8名

投票！『あったらいいな&やってみたいな』他

11月2日 滝越地区サロン 参加者10名

出張介護教室、福祉懇談会他

楽しくボランティア！

男性ボランティアの養成講座では、元気な地域づくりのために出来ることを皆で考えてみました。



◇地域福祉サービス

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	6組9名	55回 (△44回)
2 ミニ児童館	244日	22名	261回 (△44回)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	24名	160回 (△15名)
4 お楽しみ弁当	14回	44名	477回 (△6回)
5 ごたくらぶ	12回	10名	60回 (△12名)
6 会食会	1回	69名	- (±0名)
7 障がい者希望の旅	1回	9名	- (+1名)
8 障がい者交流会	1回	9名	- (△3名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 回 (- 回)



◇生活資金貸付事業

貸付件数/残高 4件 (510,000円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 2件

☆多様な担い手の育成と「協働」の体制づくり

人口減少や社会資源の不足といった課題を抱えるこれからの地域の中で、既存のサービスやボランティア活動等の枠組みにとらわれない様々な地域づくりの活動との連携や新たな支援者の養成、又、行政や各種団体、民間業者等の多様な機関との「協働」の仕組みづくりがより一層必要となって来ています。



◇介護予防・生活支援事業

☆生活支援サービスのニーズが増加

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加に伴い、近年、生活支援サービスの利用が増加しています。配食サービスでは、24名の方にご利用いただいておりますが、月平均+60食(+19%)と大幅に利用が増加。外出支援サービスでは、一日平均6回弱のご利用をいき、月平均+9回(+9%)と利用が増加しています。特に、要介護の高齢者のみの世帯の皆さんにとっては、村での在宅生活を継続するために不可欠なサービスとなって来ています。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	13名	125回 (+5回)
2 配食サービス	488回	24名	4,396回 (+714回)
3 生活支援訪問サービス	121日	21名	174回 (△70回)
① 介護予防ホームヘルプ	-	2名	63回 (+35回)
② 生活支援ホームヘルプ	-	20名	111回 (△105回)
4 介護教室	6回	77名	99回 (+50回)
5 介護者リフレッシュ	4回	18名	30回 (△1回)
6 外出支援サービス	243日	47名	1,362回 (+111回)
7 ひとり暮らしよろまい会	4回	27名	62回 (△3回)
8 心配ごと相談所	15回	-	17回 (+4回)



生きがい

みんなで食事はうまいな～！
いきいきサロンでは、ばあちゃんたちが手づくりのお弁当をつくって、牧尾ダムの堰堤までお花見に出かけました。(上)



◇生活支援ハウス運営事業

入居者5世帯5名(365日 24時間営業)

☆新規入居 1世帯(1名) ☆退所 2世帯(2名)

うまい弁当をお届け！
お楽しみ弁当は月一回、つくり隊ボランティアの皆さんが調理され、大勢の利用者のみなさんが楽しみにされています。



今年も一年がんばらまい！

ひとり暮らしよろまい会で新年交流会を開催。参加者のお一人に抹茶を立てていただき、ともに新たな一年を祝いました。(左)

～平成29年度監査意見より

◇介護サービスの現状と今後のサービス展開のあり方の検討

通所介護事業の利用者が大幅に減少し将来に向けた介護サービスの事業経営に懸念が持たれるが、社協、行政等関係者を交えた情報共有の場を設けるなどし、新たな住民ニーズに応えられるサービス展開のあり方も含め、安心して暮らせる地域づくりについてともに検討されたい。

認知症の方を正しく理解！
地域での見守りの輪を広めようと、野口サロンにおじゃましていただき認知症に関する講座を開催しました。(右)





デイサービスの敬老会では、お年寄りが作った手づくりの神輿でお祝い。



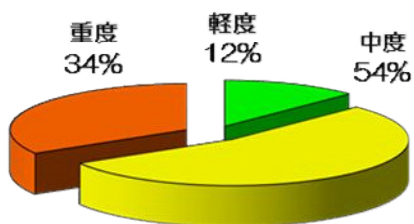
◇介護保険(障害福祉)サービス

	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	244日	41名 ◎新規10名	345回
2 通所介護(デイサービス)	256日	28名 ◎新規 8名	2,369回
3 訪問介護(ホームヘルプ)	308日	19名 ◎新規 4名	2,747回
4 障がい者ホームヘルプ	308日	1名 ◎新規 -名	495回
移動支援サービス		1名	52回

＜居宅介護支援事業＞

介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

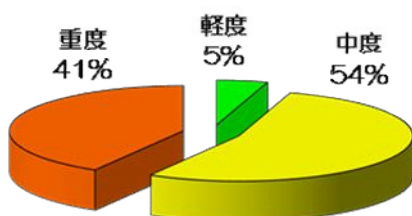
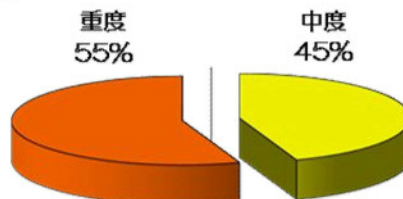
	29年度	28年度	増減
軽度	43件	36件	+7件
中度	186件	194件	△8件
重度	116件	131件	△15件
合計	345件	361件	△16件



＜デイサービス＞

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 9.3人(△2.2人)

	29年度	28年度	増減
軽度	0人	6人	△6人
中度	1,056人	1,432人	△376人
重度	1,313人	1,521人	△208人
合計	2,369人	2,959人	△590人



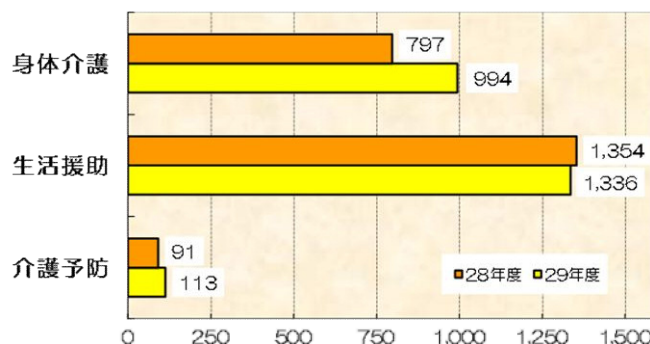
＜ホームヘルプサービス＞

介護状態別利用状況(延回数)

	29年度	28年度	増減
軽度	131回	102回	+29回
中度	1,474回	1,096回	+378回
重度	1,142回	1,070回	+72回
合計	2,747回	2,268回	+479回

◎延訪問時間 2,443H(前年度比+201H)

※1回当たり訪問時間(平均) 53分(前年度比 90%)



☆デイサービスの利用状況が大幅に悪化

平成29年度はデイサービスの利用者数が月平均△49人(△20%)と大幅に減少。年間の実利用者数や新規の利用者数は前年度と変化がありませんでしたが、利用者の入れ替わり、短期入所等の施設利用や長期入院等の要因により、月平均の実利用者数は前年度比△3名の減少となり、一日平均の利用者数が介護保険サービス開始以来はじめて10名を下回りました。

今後の利用動向に注視が必要ですが、今後の介護サービスの事業経営や、将来的な在宅介護サービスの維持・継続に大きな懸念の残る利用状況となっています。

＜障がい者ホームヘルプ＞ ※移動支援含む

	29年度	28年度	増減
◎延訪問回数	547回	556回	△9回
◎延訪問時間	493.0H	506.0H	△13.0H

支え合いの『輪』を広めよう!

ともに支え合う地域福祉の推進



ともに学び合い、地域づくり

「小さい村だからこそ出来ることも…」
「若者の発想をヒントに!」、昨年の
支え合い研修会では、飯田市の高橋寛治
先生のお話に熱心に耳を傾けました。



身近なサロン活動の普及

野口サロンでは、男衆が手打ちうどんでおもてなし。昨年は、中越区のみなさんによる新たなサロンも立ち上がり、地域に身近な居場所づくりの活動の輪が広がっています。

H29認知症安心ネットワーク事業

- (1) 認知症地域支援推進員の配置 1名(兼任)
- (2) 相談支援体制の整備
 - ① 介護・認知症相談(年2回)
 - ② 認知症講座(年2回) …6月27日 野口サロン出張教室 / 3月7日 『認知症～こんな時どうする?』 39名受講
 - ③ 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)
- (3) 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり
- (4) 介護職員の資質向上、及び在宅介護の相談支援の充実

H30生活支援ネットワーク事業

おもな取り組み課題

○生活支援及び見守り活動

『公民協働による支援ネットワークづくり』

*事業者等との連携体制づくり *既存の支援活動の有効活用と支援者のネットワークづくり
*認知症見守り体制づくり等

○居場所づくり&健康・生きがいづくり

『身近な地区の居場所づくりを広めよう!』

*各地区のサロン活動の普及 *地域の寄り合い場所の確保、及び連携体制づくり
*健康や生きがいづくりに関する意識調査等

○高齢者の社会参加及び就労活動

『ともに学び、支え合う地域づくりの推進』

*遊休農地を活用した取り組み *交流&伝承&生きがいの場づくり *住民主体の組織づくり等

○全体に関する事項

*資源マップづくりの検討 *住民への周知等

H29生活支援ネットワーク事業

(1) 生活支援ネットワーク会議(運営委員12名)

第1回 7月4日 …平成29年度推進計画他

(2) 地域支え合い推進会議(推進委員21名)

第1回 7月4日 …平成29年度推進目標他

第2回 2月6日 …課題と具体的な取り組み内容

☆専門委員会 計4回開催

① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり&健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労活動

(3) 生活支援コーディネーターの配置 1名(兼任)

支援ニーズ及び社会資源の把握、担い手の養成、及び新たなサービスや高齢者の活動の場づくり等

(4) 体制整備に関する諸事業

① 地域支え合い研修会&支援者養成研修

8月9日 参加者17名

『これからの村づくりは自分たち次第!』

～“われまめだかれ!”の関係づくり～

7月1日 参加者11名 ☆支援者養成研修

～男性のためのボランティア講座～

『あなたの生きがいを見つけよう!』

② ニーズ調査活動の実施

実態調査『高齢者の日頃の生活の実態』(8月)他

③ 支援活動の需給調整、ボランティア活動支援

景観整備を兼ねた花畑づくりに
は20名が参加。高齢者から若者
まで、みんなで汗を流して作業
をして交流しました。



社会参加と交流の場づくり

高齢者の生きがいづくりや交流、伝承等の場にと、今年から遊休農地を活用した試みも始められました。

平成29年度一般会計決算

“介護保険の収支状況が大幅に悪化”

介護保険事業では、特に通所介護事業で延利用者の落ち込みにより、事業収入が前年度比△六三万五千円（△20％）と大幅に減少。収入総額に占める介護保険収入の割合は、7割を占めたピーク時から20％も減少し非常に厳しい経営状況にあります。主要な事業財源の減収により、介護保険事業はもろろん、今後のサービス展開への影響が非常に懸念される収支決算となりました。

平成29年度決算は、介護保険収入が前年度比△五〇六万（△11％）と大幅に減少したため、積立資産からの取崩しを余儀なくされました。又、正規職員一名の欠員補充により経常経費補助金は前年度比四四万五千円増加しましたが、歳出総額は前年度比一一万（＋1％）の増加と、前年度並みの決算額となりました。

歳入合計 76,296,390円
歳出合計 75,966,390円
差引残高 330,000円

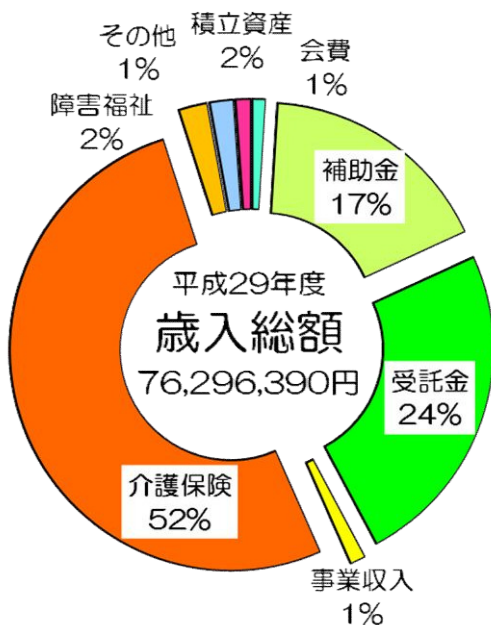
～平成29年度監査意見より②～

◇人員体制の整備に留意した事業経営

平成29年度は介護保険収入の大幅な減収により収支状況が悪化したが、必要なサービスの維持・継続のために、今後とも福祉人材の確保および人員体制の整備に留意した事業経営に努められたい。



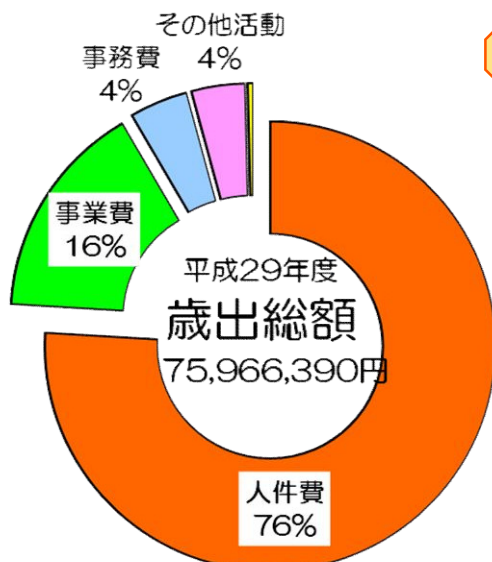
歳入



	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	743,000	729,000	14,000
2 寄附金	297,969	21,080	276,889
3 補助金	13,112,664	8,573,008	4,539,656
4 受託金	18,353,578	17,803,371	550,207
5 貸付事業収入	330,000	200,000	130,000
6 事業収入	877,700	830,850	46,850
7 介護保険事業収入	39,439,349	44,500,036	△5,060,687
8 障害サービス収入	1,597,590	1,610,240	△12,650
9 基金・積立金取崩	1,321,499	432	1,321,067
10 前期繰越金	211,343	200,000	11,343
11 その他	11,698	102,894	△91,196
合計	76,296,390	74,570,911	1,725,479

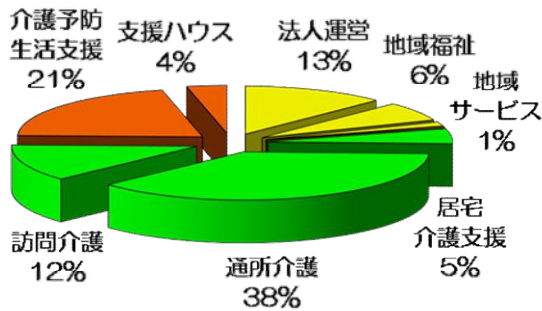
※「補助金」は共同募金配分金収入(500,664円)を含む。
「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

歳出



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	57,696,870	51,931,678	5,765,192
2 事業費	11,886,178	11,449,780	436,398
3 事務費	3,179,821	2,979,962	199,859
4 貸付支出	200,000	700,000	△500,000
5 その他の活動支出	2,913,807	2,572,595	341,212
6 基金・積立金積立	31,058	5,168,553	△5,137,495
7 その他	58,656	57,000	1,656
合計	75,966,390	74,859,568	1,106,822

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業◎ ⑤社会福祉大会◎ ⑥福祉活動の促進・支援等◎

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館◎ ②会食会他◎ ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ◎ ⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計338,200円 (対事業費 48%)

◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計2,077,050円 (対事業費 81%)

⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業
※「*」の事業の内、計11事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計6事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位: 円)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	15,675,468	15,055,187	620,281
1 法人運営事業	9,540,081	12,496,847	△2,956,766
2 地域福祉推進事業	4,867,070	774,835	4,092,235
3 地域福祉サービス	1,029,309	1,043,061	△13,752
4 生活資金貸付事業	239,008	740,444	△501,436
2 介護保険サービス	41,632,344	41,722,810	△90,466
1 居宅介護支援事業	3,781,045	4,165,867	△384,822
2 通所介護事業	28,449,941	28,597,476	△147,535
3 訪問介護事業	9,401,358	8,959,467	441,891
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	18,658,578	18,081,571	577,007
1 介護予防・生活支援事業	15,996,542	15,414,687	581,855
2 生活支援ハウス運営事業	2,662,036	2,666,884	△4,848
合計	75,966,390	74,859,568	1,106,822

※ 法人運営事業は基金組入額(31,050円)を含む。

介護保険事業の収支

(単位: 円)



	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合 計
歳出決算額 a	3,781,045	28,449,941	9,401,358	41,632,344
介護保険収入他 b	4,290,700	25,631,738	11,319,539	41,241,977
過不足額 b-a	509,655	△2,818,203	1,918,181	△390,367
(固定資産積立金)	0	0	0	0
(他事業繰出/繰入金)	509,655	△2,818,203	1,918,181	△390,367
(次年度繰越金)	0	0	0	0

※「介護保険収入他」の内、利用者の皆さまの利用料 計5,638,034円 (対事業費112%)

H29 基金・積立金の状況

H30.3.31現在

(単位: 円)

地域福祉基金	積立額	0	
	取崩額	0	
※地方交付税財源	残高	77,739,000	◎果実運用 (社会福祉事業へ)
	積立額	31,050	一般寄附金積立額
福祉基金	取崩額	0	
	残高	10,810,487	◎果実等運用 (地域独自の福祉サービスへ)
※寄附金等財源	積立額	0	
	取崩額	△1,321,499	運営補填取崩額 (2事業)
法人安定化積立金	残高	16,178,501	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
	積立額	0	
固定資産積立金	取崩額	0	
	残高	14,502,447	◎消耗資産の更新準備金 (8件)
暮らし資金積立金	積立額	8	預金利息積立額
	取崩額	0	
	残高	1,499,827	◎生活資金貸付事業原資

※ 平成29年度は、事業財源の不足による運営補填のために、法人安定化積立金より法人運営事業へ931,132円、介護保険事業へ390,367円 (1事業) を取り崩し充当しました (取崩予算額 2,799千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人員体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。



滝越 皆

災害 長期 避難生活

7月8日、一週間に渡り降り続いた豪雨の影響により河川が増水し、滝越へ向かう村道が崩落。滝越地区の皆さんが孤立したためヘリコプターで搬送され、保健福祉センターの避難所での生活を余儀なくされました。避難所での生活は半月に渡り、7月下旬以降は、村内住宅や支援ハウスで避難生活を送られます。

センターの避難所では、早速、周囲の方々から野菜の差し入れが届いたり、

今後とも災害復旧の目途が立つまでは、長期に渡り慣れない避難先での生活が続きますが、一日も早く住み慣れた集落での生活に戻れますこと、避難中の皆さまの健康を切に祈り申し上げます。



滝越水公園と林鉄車輛

脱水症に気をつけよう!

今年は7月から記録的な猛暑が続いています。脱水症で発汗が止まると、体温が上がり、頭痛や吐き気などをともなう熱中症となる危険があります。特に高齢者は身体に蓄えている水分量が少なく、注意が必要です。こまめに水分と塩分の補給をして、脱水症を予防しましょう。

◇脱水症のサイン

1日に必要な水分量

2.5リットル(目安)

食事ととれる水分は11程度です。その他に1日11~1.5リットルの水分補給を心がけましょう。

- 最近、何となくぼんやりとしている。
- おしっこが出る量が少なくなった。
- 肌や唇がカサカサしている。
- 口の中が乾燥している。
- 指のツメを押してみて、ピンク色に戻るまでに3秒以上かかる。など

☆体を動かしたり、お風呂に入るときは水分補給を心がけましょう!

☆水分の多い食事のメニューに心がけましょう!

☆食事の合い間に水分を多く取りましょう!

☆水分だけでなく塩分や糖分もいっしょに補給しましょう!

役員・委員等の改選

理事

(定数 6名) ◎前任者退任に伴う補充

吉田 英司 ~福祉行政(村福祉健康課長)

(任期:平成30年6月15日~平成31年6月定時評議員会)

評議員

☆現員数 9名

(定数 7~10名) ◎前任者退任に伴う補充

中沢 寛 ~関係機関/教育機関(小中学校)

(任期:平成30年6月15日~平成33年6月定時評議員会)

= デイサービスセンター運営委員 =

◎関係機関異動及び前任者任期満了に伴う補充

(任期:平成30年4月1日~平成31年3月31日)

三浦 悦夫 ~利用者&家族代表

吉田 英司 ~行政&包括支援センター(福祉健康課長)

関藤 邦夫 ~保険者(木曽広域連合)

平成29年度寄付者ご芳名 (受付順)

たいせつに使わせて頂きます!

寄付金総額 297,969円

一般寄付金

(第28回福祉・健康の集い
/チャリティーマーケット)

団体 一社)ムラビトミライ 様

里の駅王滝 おんたけ広場 様

長谷川農園 様

個人 脇坂 智恵子 様

チャリティバザー (23,050円)

物品寄贈

個人 匿名 様

木製楽器セット、ミュージックベル、
ミニサッカーゴール、ボードゲーム、
デジタルビデオカメラ

藤井 直子 様

食器一式(湯のみ、茶碗、小皿他)



みんなで鳴らして、楽しくレクリエーション! デイサービスなどで使う楽器やゲームをたくさんいただきました。

※ この他にも、手塩にかけて育てた野菜やお米、切り花、手づくりの箸や弁当袋、綿布や手芸用品など、たくさんの心のこもった頂きものがありました。(計128件)
あたたかいご厚志、ありがとうございます。